

① スタート地
吉備高原都市の中心施設「きびプラザ」からスタート。
きびプラには町の支所、コンビニ・スーパー、岡崎嘉平太記念館、中国銀行、飲食店などが入居した都市の中心施設です。
きびプラザ南に隣接したさんさん広場(円形コर्टール)から南に進み階段を下ります。



② 吉備中央公園
階段を下りると町立吉備中央公園です。芝生広場が広がり、卵のモニユメント、水上ステージ、テニスコートやグラウンドゴルフ場などが整備されています。春の桜、6月頃のスイレンも楽しめます。
ゆっくりと公園を楽しみながらテニスコートの横を抜けて道まで進みます。道に沿って右に進むと下り道となり、まもなく右側木立の中に石碑が見えます。その左奥の竹林は吉川八幡宮の祭りに使用する竹取場の一つです。道なりに進み六白食堂が角にある信号十字路を渡って右折します。左手に大きな木が見えるのでそこを斜めに左折し、道なりに進むと右側少し奥に柵のある石垣が見えてくるのでそちらに右折して進みます。



③ 重森三玲生家跡(松籟園庭園)
整備された生家跡には、この地にあった三玲の処女作である茶室(天頼庵)の茶庭の紹介があります。建物は無いが、当時の建物配置の状況や庭の様子をうかがうことができます。休憩場所にもなるところです。生家跡の北西近くには鎌倉時代の平城で丸山城跡もありました。
次は、ここから同じ道を引き返し、信号十字路を南に直進します。十字路の南には八丁塚バス停があります。



④ 八丁塚(はっちょうなわて) 準平原面
八丁塚バス停あたりから南一帯がそうです。古代に隆起した準平原の姿を今に残している貴重なところ。吉川八幡宮の北側に広がる標高320メートルの平坦地、面積約60平方キロメートル、第三紀頃徐々に隆起した吉備高原の一部で約100万年前の中国地方の姿をそのままとどめているところ。この地は県の天然記念物指定になっており、県天然記念物指定碑や八丁塚準平原面の説明板も県道沿いに設置されています。
当時の原形をとどめた準平原をご覧ください。
また、この付近には、季節によりイチゴの直売やイチゴ狩り体験、スイートコーンの直売所もあり、水田に囲まれたのんびりとした時間を味わえる場所です。八丁塚から南に進み十字路交差点を過ぎて右折して小径に入ります。小径左手には⑤桜の丘があり、春にはぜひ訪れてみたいところです。
小径を進み4差路を左折して家並みの中を進むとT字路の県道に出るので、右折して進むと左手に忠霊社があり、その奥が高塚古墳です。



⑥ 高塚古墳
古墳時代後期(1,400年位前)の前方後円式古墳で、明治に神獣鏡と埴輪が出土したといわれています。
次は前の県道を左手に進むとすぐに吉川八幡宮があります。この辺りの道は、幅員が狭いので事故に遭わないよう注意してください。



この忠霊社の奥にあります

⑦ 吉川八幡宮
左右の狛犬に迎えられる境内に入ります。京都石清水八幡宮の別宮として建立されたと伝えられています。本殿は国指定重要文化財、吉川八幡の森は岡山県の郷土記念物に指定、随神門は町指定重要文化財です。毎年10月に開催される吉川八幡宮当番祭は岡山県三大祭の一つとなっており、県指定重要文化財(民俗文化財)です。歴史ある佇まいを十分に堪能ください。平時は社務所は閉まっています。
神社の奥側を出ると重森三玲記念館への入口です。手前道路沿いには公衆トイレがあります。



⑬ JA青空市
吉備中央町で採れた新鮮な野菜や加工品を販売しています。品数も多くあり、食材、土産品として購入されては如何でしょうか。また休憩もとれるところです。
前の道を右手に進むと、スタート地点の吉備プラザに着きます。



⑫ 元21世紀の森
岡山県が以前に整備した森で、世界の樹木が植栽されています。騒音もなく鳥の声を聞きながらゆっくり・のんびりと歩きましょう。春には左手の桜並木が美しいところです。
坂の手前に三叉路があるので右折します。今までより少しきつめの上り坂となりますが道なりに進みます。自然を感じながらゆっくり進みましょう。上り坂がしばらく続き、途中左手に建物が見えます。道なりに進むとJA青空市に出ます。



⑩ 鳴滝ダム
昭和57年3月に完成した重力式コンクリートダム、総貯水量168万立方メートル、堤高34メートル、堤頂長127メートルのダムです。ダムの堤頂を歩いて渡れますので、普段とは違う景色をお楽しみ頂けます。ダムの両端にあるトンネルのようなものは何でしょう???(現地で説明できるかも!!)
半円形の取水口を真上から見下ろすと迫力があります。ダムの東側山には展望所もあります。ダムを見た後は、来た道を引き返します。
『来るときにダム側へ曲がった三叉路を反対方向に1Km程進むと、農林業実践学習の里・体験学習農園に行けます。』
三叉路を左折し、竹吉橋方向に道なりに進みます。途中で右手側の山へ上がる階段道がありますが、この道を利用するには国立吉備青少年自然の家が許可が必要ですので、登らないでください。連絡橋の横を進みます。しばらく左手の桜並木に沿って湖畔道路を進むと、緩い上り坂となります。この辺りの右手の山裾には、以前岡山県が整備した元21世紀の森があります。



⑩ 鳴滝湖連絡橋(竹吉橋)
竹吉橋からはダム湖周辺の素晴らしい景色が望めます。
次は竹吉橋を渡り右折してしばらく進むと三叉路があるので右折して進むと鳴滝ダムが見えます。ダム手前右側には遊歩道がありダムの説明板が設置してあります。



竹吉橋から鳴滝湖

⑧ 重森三玲記念館(隣接の公民館にパネル展示室あり)
記念館は入館無料で、土曜日が閉館日です。平日は9時から16時、日曜祝日は10時から15時が開館時間となっています。記念館には、氏の残した書画などが多数展示されており、隣接した天頼庵(登録有形文化財、三玲氏が18歳の時に取り組んだ処女作で、記念館横に移築されている。)なども見学できます。隣接して町立吉川公民館があり、1階に三玲氏作庭の紹介パネルが展示されています。
次は、三玲記念館出口を直進し、県道に出ると変形4差路があり右奥の道を右折して進みます。下り坂の途中左手に⑨町立吉川小学校があるので校舎裏に沿って左手に入ります。小学校裏の下り坂の道を降りて右折、山裾に沿って進みます。やがてT字路に出るので左折して進むと、途中左に行く分かれ道があります。カーブミラーのあるY字路に出るので左折して進むと、途中の道路(吉備高原大橋)下を直進し道なりに進んでいくと、左手に国立吉備青少年自然の家の建物が見えてきます。右手に鳴滝ダム湖の景色を眺めながら進むと立岩橋が着きます。
『記念館で切り上げてスタート地点に戻る方は、記念館から県道に出て左折、下り坂のガードレールが切れたところを右折して農道を斜め北(左手方向)に進んでいくと2車線の道路に出るので右折・直進し、青少年自然の家入口信号交差点を左折し直進するとスタート地点のきびプラザに着きます。(短絡ルート)』



⑨ 小学校裏手曲り角



＊ 特別ルート（国立吉備青少年自然の家管理区域）

このコースは、国立吉備青少年自然の家の活動エリアを、各人(グループ)が利用申し込みをした上で歩くことが出来るコースです。
 まずは、自然の家の事務室を訪ねていただき、ハイキングをすることをお伝えください。その場で利用申込書を記入します。土日祝日に利用する場合は、施設利用者の活動によって混み合うことがありますのでご了承ください。

⑭ 国立吉備青少年自然の家管理棟
 1階管理事務所に申し出てコース内立入許可を受けます。事務室から道に戻り、左手に進むとT字路に出るのでそこを右折します。そのまま坂を下るとT字に突き当たるのでそれを左折します。道なりに鳴滝湖を右手に見ながら進むと⑩竹吉橋に出るので渡って右折し、⑪鳴滝ダムまで行き、ダム堤頂を渡り対岸まで進みます。(⑩竹吉橋、⑪鳴滝ダムは通常コースのとおり)
 鳴滝ダムから先は少し勾配のある登りの山道となります。足下に注意しながらマイペースで進みましょう。ここからは山の中を歩く林道風となっており、上り下りがあります。森林浴を存分に味わってください。しばらく進み道標に従って右折、鳴滝湖畔に降りる道があります。ハイキングコースの「湖一周コース」の看板が目印になります。



⑮ 鳴滝湖畔 湖畔ファイヤー場
 湖畔の芝生広場が広がる場所です。四つ葉のクローバーでも探してはどうでしょうか。ここでは少し休憩がとれる場所です、楽しみを見つけてください。
 元の道まで戻り右折します。しばらくは上り道、進んでいると途中野外炊事場を通り過ぎ、三叉路があります。そのまま進むと右手下に芝生の広場（河川敷）が見えます。



⑯ 自然の家 河川敷
 河川敷には「フライングディスクゴルフ場」があり自然観察もできます。「フライングディスク」を体験する場合は、申込時にお伝えください。また、この付近には「森の宝石」と呼ばれる「ブッポウソウ」の巣箱が設置されており、季節によっては(4月下旬から8月上旬頃)見ることが出来るかも???
 なお、吉備中央町内には約250箇所の巣箱が設置されており、絶滅危惧種であるブッポウソウの保護がすすめられています。
 河川敷の東側には自然の家の山小屋「鳴滝」がありトイレが使えます(冬期は閉鎖)。
 河川敷を横切り川を渡って進むとピオトープがあります。その川沿いに進むと川の水量が少し多いところに出ます。ここではコイ等の魚や亀、カワセミも観察できます。



⑰ 国立吉備青少年自然の家管理棟
 手続きをした施設のある場所に入ります。進む道は公道ですが、自然の家の利用者の活動等に支障の無いようご配慮をお願いします。ダム湖畔の景色などを楽しみながら歩いてください。
 手続きをした管理棟の前を通り、最初の道まで帰ります。信号交差点を右折して進むとJA青空市の前を通り、スタート地点の吉備プラザに着きます。

＊ ワンポイントガイド

1 丸山城跡(町指定重要文化財)
 賀陽町(現吉備中央町)教育委員会発行の「賀陽の文化財」によると、丸山城跡は、小茂田の田んぼの中にある平城で、鎌倉時代の弘長年間、藤原宗春以来、数世代の居城であったが、その後天正年間、伊賀氏の一族、吉川弥左衛門がこれを修築して居城としたという。塚の後、古井戸、土塁などよくその遺構をとどめている平城である。
 場所は、③重森三玲生家跡から北西の方角で、生家跡駐車場(東側)から少し下り三叉路を左折して道なりに進んだところ約5分で行けます。ただし、土地は個人所有地のため、立ち入ることはできません。



奥に見えているこんもりとした場所です。

2 イチゴ狩り・ブドウ販売所
 八丁驛準平原の一角にイチゴ狩りのできる場所があります。また、イチゴの販売もしていますので、お楽しみください。時期によってはイチゴ狩りの予約が必要な日もあります。秋にはブドウやサツマイモの販売もしています。



3 スウィートコーン直売所
 八丁驛準平原では、7～8月にスウィートコーンの臨時直売所ができます。生でもおいしく食べられるコーンをぜひご賞味ください。



直売所ができるあたり
 コースから少し西側

4 スウィートコーン直売所
 スウィートコーンの栽培をしている宮木牧場さんの直売所です。シーズンには多くの方が買いに訪れるところです。

5 紅葉の見所
 元ニューサイエンス館近くではモミジをはじめとする木々の紅葉がとても美しいところです。一見の価値あり。



6 食事処
 きびプラザの中に、「郷土料理 まきば」、「ごはんやさん どうぞのいす」、「吉備高原ごっつおうビュッフェバイキング」があり、都市北部住区内にはオムライスのおいしい軽食・喫茶「ベルネーゼ」や、おばんざいの「ギャラリー款」、岡山賀陽線沿いJA青空市に隣接したお食事処「桂」、フットパスコース沿いの「六白くまろ食堂」は純粋黒豚「六白」の商標登録の店で六白を使用したトンカツ定食と六白ステーキは最高級品です。

7 土産物・買い物
 きびプラザでは、スーパー・コンビニで地元特産品を販売しています。また、猪革製品も管理センター販売コーナーで購入できます。また、2階では「郷土料理まきば」で手作りの「太陽の力(液状桃太郎トマト)」や「トマトジャム」他を販売、「新古美術・アンティーク高重」ではアンティークな家具や古美術品を展示販売しています。
 町内には、「道の駅かよう」と、「道の駅かもがわ円城」の2つの道の駅があります。ピオーネや白菜をはじめ道の駅でしか味わえない品が盛りたくさんです、ぜひ足を伸ばしてみてください。フットパスコース沿いには「JAびほく青空市」があり、新鮮な野菜や果物がそろっています。

8 岡崎嘉平太記念館(きびプラザ 1階)
 岡崎嘉平太記念館は、吉備中央町出身で、日中国交正常化の実現などに功績のあった岡崎嘉平太氏の生涯とその思想や多くの功績を次世代に永く伝えるために、平成13年8月に開館しました。遺族から贈られた遺品を中心に約7600点を収蔵しています。

展示室には、岡崎氏の書をはじめ中国の要人から贈られた品や飛行機の模型などが展示されており、書斎の復元コーナー、ビデオコーナーも設けられています。

- ・ 開館時間 9時～17時(入館は16時30分まで)
- ・ 休館日 毎週火曜日(祝日は除く) 祝日の翌日(土、日は除く) 年末年始(12月28日～1月4日)
- ・ 入館料 無料

